

各 位

2016年7月14日  
株式会社イオンファンタジー  
代表取締役社長 片岡 尚  
(コード番号 4343 )

## 2017年2月期 6月度の営業概況

### 1. 業績の進捗

6月度(2016年6月1日～2016年6月30日)の国内単体の営業収益は35億82百万円、前年比103.8%となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

### 2. 月次売上高の前年比の状況(国内事業)

(単位：%)

	6月度		当期累計(3月度～6月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	108.8	111.0	129.4	106.9
商品売上	83.4	82.5	95.1	82.5
遊戯施設売上計	103.5	104.5	121.8	101.3
売上高合計	103.8	104.9	121.4	101.2

※既存店前年比は前年同月に対し月曜日・火曜日が各1日減少し、水曜日・木曜日が1日増加しておりますが、その影響は0.7%減となり6月度の既存店前年比の趨勢は105.6%となります。また、既存店前年比に旧ファンフィールドの店舗は反映されておられません。

### 3. 営業の概況

6月度の売上高前年比は、遊戯機械売上108.8%、商品売上83.4%となり、既存店前年比は104.9%となりました。また遊戯機械売上の既存店前年比は111.0%となり、10ヶ月連続で既存店前年比が100%を超えるとともに第1四半期よりさらに売上を伸ばし好調に推移しております。風適法の一部改正に伴い16歳未満の入店規制緩和が6月23日より施行され、一部の店舗においてはプラスの効果が出ております。部門別では、プライズ部門はお菓子景品や幼児向け企画景品を中心に伸び、既存店前年比は119.2%と引き続き好調を維持しております。またメダル部門は既存店前年比が105.2%と好調です。

※上記に記載の部門別既存店前年比は、旧ファンフィールド店舗の数値を概算値として反映しております。

### 4. 国内出退店の状況

今期(2016年3月1日～2016年6月30日)は8店舗を新たに開店し、8店舗を閉店しております。

※2016年6月末の国内直営店舗数：494店舗

### 【参考情報：海外子会社の既存店売上前年比の状況】

(単位：%)

	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度
中国	97.4	109.4	94.9	108.9	—	—
マレーシア	101.0	112.5	102.9	106.5	—	—
タイ	80.0	92.3	84.6	91.9	—	—
フィリピン	85.4	109.7	93.8	88.2	—	—

注：中国は2015年11月度より、マレーシアは2016年1月度よりプリペイドカードの有効期限(1年)切れによる退職金を売上計上しております。また中国は2016年5月に「営業税から増徴税」への移行がサービス業に適用されました。これにより売上は約5%減りますが、同額以上の営業税等(費用計上)が減るため利益に対してはプラス要因となります。

(IR情報を含め当社の各種情報は、当社ホームページで随時お知らせしております。<http://www.fantasy.co.jp>)

問い合わせ先 広報・IR室 井関 義徳 (電話 043-212-6188)

以上